



令和6年3月27日（水）岐阜県発表資料

担当課	担当係	担当者	電話番号
博物館	マイ・ミュージアム係	南本有紀	代表 0575-28-3111 内線 306 FAX 0575-28-3110

企画展

「返還30年 岐阜の赤羽刀総覧—美濃伝をたどる—」

を開催します

今回は、赤羽刀返還からまもなく30年になることを記念し、岐阜県内の赤羽刀を総覧する展覧会を開催します。当館並びに関市が所蔵する整備済みの赤羽刀を中心として、美濃鍛冶の始まりである西郡・赤坂鍛冶から最盛期の関鍛冶、さらに幕末の美濃刀まで、約70振りを展示します。他に、関市内の2会場でも連携展覧会が同時開催され、併せて100振りを超える美濃ゆかりの赤羽刀をご覧いただけます。

古くは室町時代の兵変から先の戦争まで、あまたの戦乱を潜り抜け、多くの先人の努力で伝世された郷土刀の一大コレクション群と出会う、またとない好機です。ぜひご来場ください。

赤羽刀とは


第二次世界大戦後、日本の武装解除の一環でGHQ（連合軍最高司令官総司令部）に接収された後、文化財として返却され、全国の公立博物館等に無償譲渡された日本刀です。

関市は中世から刀剣産地として栄え、現在でも多くの刀剣関係の職人（刀職）が活躍していることから、全国最多の赤羽刀を受領しました。関市に所在する当館も多くの赤羽刀を所蔵しています。

- 1 期 間 令和6年4月20日（土）～6月23日（日）
開館時間 9：00～16：30（入館は16：00まで）
休館日 毎週月曜日（祝休日の場合は翌平日）
- 2 会 場 岐阜県博物館 本館4階 特別展示室・企画展示室（関市小屋名1989）
- 3 入 館 料 一般340（280）円、大学生110（50）円、高校生以下無料
※（ ）内は20名以上の団体料金
- 4 主 催 岐阜県博物館、中日新聞社
- 5 後 援 NHK岐阜放送局
- 6 問い合わせ先 岐阜県博物館
電話番号：0575-28-3111（代）

<https://www.gifu-kenpaku.jp/>

岐阜県博物館

検索 



博物館 HP

7 関連催事

(1) 講演会1「関市の赤羽刀整備事業について」

講師：江西奈央美氏（関市観光課・関鍛冶伝承館学芸員）

日時：4月28日（日）（13：30～15：00）

会場：岐阜県博物館 けんぱくホール（関市小屋名1989）

定員：120名（要事前申込、先着順）

申込方法：（1）岐阜県博物館ホームページの申込フォーム

（2）電話

受付開始は3月28日（木）から

電話受付は休館日を除く8：30～17：15まで

(2) 講演会2「赤羽刀と日本刀の魅力：様々な視点から」

講師：福井款彦氏（三重県・愛知県銃砲刀剣類登録審査委員）

日時：5月19日（日）（13：30～15：00）

会場：岐阜県博物館 けんぱくホール（関市小屋名1989）

定員：120名（要事前申込、先着順）

申込方法：（1）岐阜県博物館ホームページの申込フォーム

（2）電話

受付開始は4月19日（金）から

電話受付は休館日を除く8：30～17：15まで

8 関連展示

(1) 「美濃伝の継承者たち：岐阜の赤羽刀総覧」

会場：関鍛冶伝承館企画展示室（関市南春日町9番地1）

期間：令和6年4月20日（土）～6月23日（日）

休館日 毎週火曜日

開館時間：9：00～16：30（入館は16：00まで）

入館料：大人300（250）円、高校生200（150）円

小中学生100（50）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

(2) サテライト展示「美濃伝の継承者たち：岐阜の赤羽刀総覧」

会場：わかくさ・プラザ特別陳列室（関市若草通2丁目1番地）

期間：令和6年4月20日（土）～6月23日（日）

休館日 毎週月曜日（祝休日の場合は除く）

開館時間：9：00～17：00

入館料：無料